



日本に住む人は
日本語を使えて
当たり前だと
思っていないませんか？

地域で活躍する「生活者としての外国人」から見たNIPPON

——— 地域の活力を日本語教育から ———

身近にいる外国人が、何を考え、何に困っているのか、そして、それを解決するために日本語教育をどのように進めていくべきなのか、皆で一緒に考えてみませんか？

開催日時 平成27年8月28日(金) 13:00~17:15
29日(土) 10:00~15:15

会場 昭和女子大学
(地下鉄半蔵門線 三軒茶屋駅 徒歩7分)

参加費・事前申込み^(注1)は不要です。直接会場にお越しください。

注1) 大会2日目の分科会のみ、事前申込みが必要となります。申込み方法については、文化庁HP内の「文化庁日本語教育大会」のページを御確認ください。

1日目 8月28日(金)

- 13:00 **開催挨拶** 青柳 正規 (文化庁長官)
- 13:10 **施策説明** (文化庁・文部科学省・国際交流基金)
文化審議会国語分科会日本語教育小委員会における審議状況の説明
- 14:10 **「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の実践事例報告**
・磐田国際交流協会(静岡県) [多様連携の創出による日本語教育体制整備事業]
・総社市(岡山県) [地域参加型生活サポート日本語教育事業]
- 14:55 **特別講演**
矢野 デイビット (ミュージシャン、司会、タレント、一般社団法人 Enije 代表)
～多様なルーツを持つ人々が共に暮らす社会に生きる日本の皆さんに願うこと～
- 15:25 **パネルディスカッション**
地域で活躍する「生活者としての外国人」から見たNIPPON
ー地域の活力を日本語教育からー
ファシリテーター：矢野 デイビット
パネリスト：
▶支援から共生へ！多文化ソーシャルワーカーとして地域をつなぐ
ダニエル・サルボ (公益財団法人愛知県国際交流協会)
▶外国にルーツを持つ子供たちの母語保持教育に取り組む
王 雁 (大阪府立門真なみはや高等学校教諭)
▶地域の未来、医療・福祉を共に支える
山城 ロベルト (一般社団法人ブリッジハートセンター東海代表)
▶難民として日本へ。外国人・難民を支えるために
南 雅和 (ベトナム料理イエローバンブー経営)
- 17:15 **閉会**



矢野 デイビット



ダニエル・サルボ



王 雁



山城 ロベルト



南 雅和

2日目 8月29日(土)

- 10:00 **「生活者としての外国人」のための日本語教育 説明会**
「生活者としての外国人」のための日本語教育 ポスターセッション
地域日本語教育実践プログラム A、B (12 団体) ※発表団体は、ホームページを御覧ください
- 12:30 **「生活者としての外国人」のための日本語教育 テーマ別実践報告会**
- 第1分科会 「生活者としての外国人」のための日本語学習教材あれこれ**
ヤン・ジョンヨン (群馬県立女子大学)
①総社市 ②NPO法人日本ボリビア人協会 ③NPO法人多文化共生センター大阪
- 第2分科会 日本語学習ポートフォリオと日本語能力評価の実践**
北村 祐人 (名古屋大学 とよた日本語学習支援システム)
①磐田国際交流協会 ②公益財団法人名古屋YWCA ③公益財団法人吹田市国際交流協会
- 第3分科会 子育て・親子のための日本語教育の実践**
石井 恵理子 (東京女子大学)
①地球っ子クラブ2000 ②NPO法人教育活動総合サポートセンター ③外国人親子カンガルーサロン
- 14:40 **分科会報告** コメンテーター：山田 泉 (法政大学)
- 15:15 **閉会**



ヤン・ジョンヨン



北村 祐人



石井 恵理子

(敬称略)

【主催】

 **文化庁**
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

【お問い合わせ】

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2 旧文部省庁舎5階 文化庁文化教育部国語課
電話:03(5253)4111(内線2840) FAX:03(6734)3818 nihongo@bunka.go.jp

文化庁ホームページ: http://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/taikai/

※なお、宮城・大阪・福岡においても同様の内容をコンパクトにまとめた協議会を行います。
詳しくは文化庁HP内の「日本語教育研究協議会」のページを御覧ください。